

# 学校間交流の事前指導における障害理解学習の効果(2)

—6年生における授業実践を通して—

田名部沙織

細谷一博

(北海道教育大学大学院教育学研究科)

(北海道教育大学教育学部)

KEY WORDS: 学校間交流 小学校 障害理解学習

## 1.目的

交流及び共同学習の推進に加えて、共生社会の形成に向けた障害者理解を推進していく事が求められている。実際に障害理解教育に関する実践は、年々増加傾向が見られている(田名部・細谷,2017)ことから、更なる実践から得られる知見の蓄積が必要である。

そこで、本研究では、小学校と特別支援学校間で行われる学校間交流の事前学習において障害理解学習を実施し、小学校6年生を対象とした障害理解学習の効果について検討することを目的とする。

## 2.方法

### 1)対象児

小学校6年生に在籍する児童70名(男子38名,女子32名)を対象とした。本研究の実施に先立ち、当該校に研究内容について説明し、同意を得た。

### 2)手続き

本授業は当該校の各教室で実施し、実際の交流活動は体育館,音楽室,家庭科室で実施した。本研究の内容をTable1に示す。授業の前に障害理解に関するアンケート(Pre)を実施し、6回の障害理解授業を行った。その後、授業開始前と同様の障害理解に関するアンケート(Post)を実施した。なお、本研究ではPre-Postともに、回答に不備があったもの、どちらかで欠席した回答を除き、65名(男子37名,女子28名)の結果を分析対象とした。

### 3)アンケートの構成

本研究で用いた障害理解アンケートは、障害理解の5段階(徳田,2005)で設定された項目(小林ら,2016)を参考に設

Table1 障害理解学習の内容

授業のめあて	
第1回	交流するお友達について知り,活動を楽しむための工夫を考えよう。
第2回	交流するお友達と活動を楽しむための工夫を考えよう。
第3回	交流学習に向けて準備をしよう。
第4回	交流学習①
第5回	交流学習②
第6回	交流を振り返り、みんなで一緒に活動するために大切なことを考えよう。

定した。具体的な質問項目は、①あなたのまわりに障害のある人はいますか。②障害のある人は困っていることがあると思いますか。③障害のある人で困っている人がいたら助けてあげることがたくさんありますか。④障害のある人が困っていたら、あなたが助けてあげることがたくさんありますか。⑤障害のある人のことについて勉強してみたいですかの5項目である。回答はすべて5件法で尋ねられた。

## 3.結果と考察

障害理解学習の前後で得られたデータを性別及びアンケート時期による2×2の分散分析を行った(Table2)。分析の結果、情緒的理解の段階における時期において、 $p<.01$ で有意差が認められ、受容的行動の段階に該当する項目における性別において、 $p<.05$ で有意差が認められた。一方で、他の段階に該当する項目の性別や時期、交互作用における差はみられなかった。これらの結果から、本研究で6年生を対象に実施した障害理解学習は、気づき,知識化,態度形成,受容的行動において、効果はみられなかったと共に、情緒的理解の低下がみられた。一方で、受容的行動では、女子よりも男子に効果がみられた。今後、他学年と系統性を持たせると共に、6年生の発達段階を考慮した上で、児童の障害理解が高まるような障害理解学習の内容の検討が求められるといえる。

## 文献

- 小林智志・梁真規・今枝史雄・楠敬太・金森裕治(2016)私立小学校における系統的な障害理解教育プログラムの作成に関する研究(第Ⅲ報)—知的障害理解を目的とした授業実践を通して—。大阪教育大学紀要第Ⅳ部門,65(1),47-59.
- 田名部沙織・細谷一博(2017)障害理解教育の変遷と今後の課題—実践を中心とした今後の展開—。北海道教育大学紀要(教育学編),67(2),93-104.
- 徳田克己(2005)障害理解とバリアフリー。徳田克己・水野智美編著。障害理解—心のバリアフリーの理論と実践—。誠信書房。pp2-10.

Table2 小学生の障害理解学習の効果

		M		F		主効果:性別	主効果:時期	交互作用
		Pre	Post	Pre	Post	F値	F値	F値
気づきの段階	N	37		28		1.05 n.s.	3.49 n.s.	0.00 n.s.
	M	2.89	3.14	2.61	2.86			
	SD	1.20	1.16	1.37	1.15			
知識化の段階	N	37		28		0.22 n.s.	0.72 n.s.	0.33 n.s.
	M	4.43	4.24	4.43	4.39			
	SD	0.69	1.07	0.69	0.69			
情緒的理解の段階	N	37		28		0.46 n.s.	10.10 **	3.96 n.s.
	M	3.89	3.27	3.54	3.39			
	SD	0.73	1.02	0.84	0.69			
態度形成の段階	N	37		28		2.45 n.s.	1.44 n.s.	0.73 n.s.
	M	2.89	2.95	3.11	3.43			
	SD	1.02	1.08	1.17	1.1			
受容的行動の段階	N	37		28		5.84 *	2.04 n.s.	0.04 n.s.
	M	3.11	3.00	3.68	3.54			
	SD	1.05	1.05	0.91	0.84			

\*:P<0.05 \*\*:P<0.01